



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会社名 日本基礎技術株式会社
 代表者名 取締役社長 中原 巖
 (コード番号 1914 東証 第1部)
 問合せ先 事務管理本部長 尾崎 克哉
 (TEL 03-5365-2500)

通期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 14 日に公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせします。

また、個別および連結の業績において特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績との差異について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 22,700	百万円 △200	百万円 △240	百万円 △540	円 銭 △19.11
実績 (B)	21,057	△305	△167	△895	△31.68
増減額 (B－A)	△1,643	△105	73	△355	—
増減率 (%)	△7.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	24,113	1,421	1,333	951	33.42

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,350	百万円 590	百万円 △510	円 銭 △18.05
実績 (B)	18,037	909	△885	△31.33
増減額 (B－A)	△1,313	319	△375	—
増減率 (%)	△6.7%	54.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	20,393	1,100	851	29.92

(連結業績)

連結業績予想数値の修正理由としましては、個別業績において、工事採算の向上等により営業利益・経常利益が増加しました。しかし、米国の連結子会社において、収益性が低下したことに伴い、同社の固定資産の減損損失 340 百万円を特別損失に計上したこと等により、当期純利益が減少しました。

(個別業績)

売上高につきましては、手持ち工事の進捗が想定を下回ったことにより、売上高が減少しました。しかし、工事採算性が好転したことにより経常利益が増加しました。

また、当期純利益につきましては、米国の連結子会社において収益性が低下したことに伴い、当該子会社に対する関係会社貸倒引当金繰入額 508 百万円を特別損失に計上したこと等により予想を下回りました。

2. 特別損失の計上について

(連結業績)

米国の連結子会社である JAFECUSA の収益性が低下したことによる「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、減損損失 340 百万円を特別損失として計上いたしました。

(個別業績)

個別決算において、米国の連結子会社である JAFECUSA において収益性が低下したことに伴い、当該子会社に係る債権に対し、関係会社貸倒引当金繰入額 508 百万円を特別損失として計上しました。

なお、個別財務諸表において特別損失として計上しましたが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上